



山科朝則 県政報告 Vol.10

発行日 / 平成28年春 発行 / 山科朝則事務所

山科朝則事務所 〒996-0033 新庄市下金沢町4番20号 TEL.0233-25-8778 FAX.0233-25-8777



2016 Action!

ふるさと再生 さらに前進!

県民一人ひとりが喜びと幸せを実感できる

「自然と文明が調和した理想郷山形」の実現

平成28年度 やまがた創生 前進 予算 6,236億円

子育て支援・人づくり

- ひとり親家庭・子どもの貧困対策
⇒相談・支援拠点の設置、資格取得応援、交流の場づくり
- 探究型学習に係る「学力調査」の全県実施
- 若者の県内回帰・定着を促す奨学金返還支援制度の創設
⇒市町村、産業団体と連携し奨学金返還支援を
- スポーツ振興基金の設置
- ※新庄養護学校高等部に平成29年度就労コース新設

産業振興・雇用創出

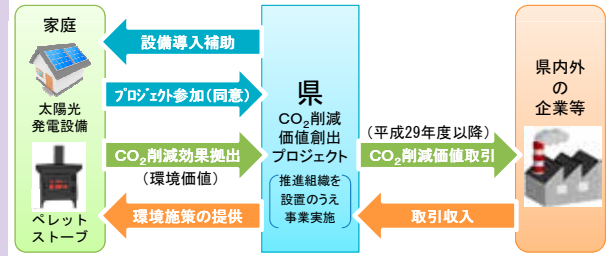
- 中小企業におけるプロフェッショナル人材の受け入れ支援
- 高品質高付加価値な「メイドイン山形」のものづくり支援
⇒産学官金が連携した製品開発プロジェクト支援
- やまがたブランドの確立
⇒やまがた特命ブランド大使による魅力発信
- 観光誘客拡大のための観光PRや受け入れ態勢の整備

安全・安心な社会の実現

- 市町村「生涯活躍のまち(日本版CCRC)」構想事業化に向けた支援
- 障がいのある人もない人も共に生きる社会づくりの推進
⇒就労支援、心のバリアフリー推進員養成、障がい者芸術活動拠点の設置
- 「性暴力被害者サポートセンター」の設置

環境・エネルギー

- 木質バイオマス発電施設整備に係る積雪寒冷対策への支援
- エリア供給システムの整備構想策定への支援
- 再生可能エネルギー導入に伴うCO2削減効果の「見える化」の推進



農林水産業の振興

- 中山間地域における持続可能な農地保全に向けた支援
- 中山間地域の農地を借り受ける中心的な担い手への支援
- 水稲新品種「山形112号」のブランド化に向けた戦略の検討
- 「アグリウーマン」の育成
⇒若い女性農業者ならではの視点・発想で新たな事業展開に取り組む経営者を育成・支援
- 食品加工試作支援棟の整備
- 高収益な栽培体系への転換に必要な施設整備への支援
- 間伐路網整備、木材加工流通施設整備への支援

県土整備の推進

- 大規模特定建築物の耐震改修工事への支援
- 道の駅魅力アップに向けた観光案内施設等整備への支援
⇒2020年代初頭までに現在18駅の道の駅を30駅に、トイレの洋式化・道路状況の提供など

平成28年度当初予算の概要より新規事業等を抜粋して掲載しております。詳しくは山形県のホームページをご覧ください。
<http://www.pref.yamagata.jp/ou/somu/020004/28yosan/28yosan/h28yosangaiyoupurezen.pdf>

※この県政報告誌は、県議会議員に交付される政務活動費を活用し、作成しております。



やまがた森林ノミクス

これまでの『育てる林業』から『使う林業』へと移行。地域資源を活用した緑の循環システムを構築し、林業振興、雇用創出、そして地域の活性化を!!

県では「やまがた森林ノミクス」として、林業振興により経済の好循環を生み出そうと事業を進めております。

一方、国では、林業を成長産業と位置づけ、利用期を迎えた人工林の木材を有効に活用し、2020年までに木材自給率を50%に引き上げようとしています。間伐等の手入れをし健全な森林を維持することは、国土保全、二酸化炭素吸収の面からも必要なことだとされています。

新庄最上地域は、面積の約8割が森林であり、森林組合や木材加工施設が集積していることから、林業の先導的な実践地となっております。

このたび、**県立農業大学校が「県立農林大学校」と改称**し、県内林業のリーダーを育成することとなりました。林業人材の育成が新庄市で行われることは地域活力の点からも大変喜ばしいことです。

「やまがた森林ノミクス」を構築し、地域経済を活性化するには、伐採・利用した後の再造林も不可欠です。私がかねてより、伐採、再造林についてのしっかりとしたルールづくりが必要であると訴えてまいりましたが、平成28年度に「やまがた森林ノミクス条例」を制定し、森林の有効活用と森林保全を一体的に推進することが決定しました。次世代に森林資源を継承していくため条例の早期制定に向けて取り組みます。



展開する施策

- ◎**県産木材の生産量の拡大**
～低コスト作業システムの構築～
 - 施業の集約化の促進
 - 高性能林業機械の導入促進
 - 路網整備の促進
- ◎**流通体制の整備促進**
 - ストックヤード(一時保管所)の整備
- ◎**県産木材の利用拡大と段階的な利用**
 - 公共建築物・住宅への利用拡大
 - 未利用材・製材端材等の熱・発電利用
- ◎**人材の育成**
 - 緑の雇用による人材育成
 - 林業人材を育成する新たな教育機関の設置(林業経営学科)
- ◎**やまがた森林ノミクス条例制定の実現**
(12/11 予算特別委員会で質問)

「農業大学校から農林大学校へ」 林業経営学科が4月新設されます! 全国に先駆けたタイムリーな取り組み

ドイツやオーストリアなど林業が盛んな国では、若者にとって「給料がよい」「格好がよい」「健康によい」という日本の3Kとは違う意味で林業があこがれの産業となっています。日本でも林業が成長産業として注目されている中、学生募集には多数の応募がありました。次世代を担う人材育成が期待されます。

〈林業経営学科の特徴〉

- 先端林業、いわゆる低コスト作業システムを学習、生産現場での実習
- 大規模な木造建築向けの加工技術の研修
- 家具製造、木工関係の技術、圧密加工技術、杉材を使った圧密加工など、三次元形状の加工技術の研修
- 大学校としては全国初になる「実践教育サポートコンソーシアム(仮称)」を創設。官民それぞれが役割分担し農林大学校をバックアップ
- 一定程度の実務経験を積んだ意欲ある若手林業者を対象に、地域林業のリーダーを目指す「青年林業士制度」を県独自に創設

ごあいさつ

皆様には日頃より県政に対する多くのご意見、ご指導を賜りましてありがとうございます。

昨年4月に2期目の議席をお預かりしてから間もなく1年を迎えようとしております。

これからも地域の課題解決に最優先で取り組んでまいります。今年度の活動をご報告いたしますので、ご覧いただきご質問やご意見をお寄せ下さい。

山形県議会議員 **山科 朝則**

皆様のご意見をお寄せください。

山科ともりのりホームページ
<http://www.yamashina.jp/>

※この県政報告誌は、県議会議員に交付される政務活動費を活用し、作成しております。